

# ④ めまた 市議会だより

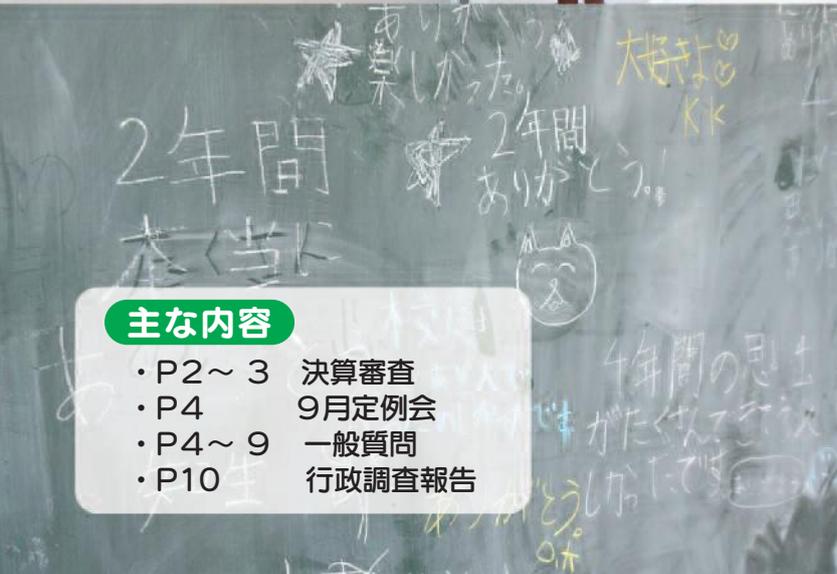
第51号

9月定例会

平成30年

11月1日

さよなら 利根西小  
お別れ会



## 主な内容

- ・P2～3 決算審査
- ・P4 9月定例会
- ・P4～9 一般質問
- ・P10 行政調査報告

平成29年度  
決算  
審査

# どう活かされた？ 私たちの税金

## 決算審査特別委員会

平成29年度決算関連議案2件は、議長を除く19人で構成される決算審査特別委員会に付託され、委員長に高柳勝巳議員、副委員長に井上弘議員を選出して、9月19日から25日まで、4日間にわたり審査を行いました。

審査では、主要な施策に対して、予算がどう活かされているのか、事業の進み具合はどうかなど、延べ28人が、106件の質疑。慎重な審査の末、賛成多数によりいずれも原案可決及び認定すべきものと決しました。

平成29年度決算は、沼田市第六次総合計画の初年度として、「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田」の実現に向けて、厳しい財政状況ですが、財政の健全化に努め、新たな施策展開や市民要望などを考慮し、テラス沼田をはじめとする公共基盤の整備など市民福祉の向上に新たな一歩を歩み始めたものと認められました。

## 決算に反対 (一部抜粋)

加速度的に進む人口減少と高齢化、過疎化は、地域を維持することすら困難となり、市民生活と沼田市政を取り巻く状況は厳しさが増すばかりです。

市民が安心と希望を感じ取れる多面的で高度な施策を進めることが求められており、今決算審査で出された評価、意見、疑問、批判などをあらゆる角度から検討し、新年度予算編成、これからの市政運営に反映されることを強く望みます。

## 決算に賛成 (一部抜粋)

実施された事業については、指摘した課題についての改善を望むものの、総体としては、計画の推進に効果のあった事業実施であると評価します。

人口減少が加速度的に進む中、子育て世代や生産年齢層が、健康で働きやすい環境を整えることは重要です。課題を精査し、今年度の事業実施、検討の始まる新年度予算へ反映し、本市のさらなる躍進に努められるよう求めます。

## ◆沼田市の財政状況は？

平成29年度決算における財政状況が市当局から示され、一般会計及び特別会計7件の決算総額は、歳入が前年度比3・0パーセント増の約389億4千万円、歳出が前年度比3・0パーセント増の約379億8千万円、約9億6千万円の黒字でした。財政構造を測る指標のひとつである経常収支比率は、前年度より0・1ポイント改善しましたが、財政の硬直化は依然として厳しい状況です。

財政の硬直化は？

経常収支比率  
**95.7**

前年度比0.1ポイント改善

県内12市中6番目

経常収支比率は、経常経費を経常一般財源の総額で割ったもので、数値が低いほど普通建設事業などに充当できる財源があり、地方公共団体の財政構造が弾力性に富んでいると言つことができます。

余力はどのくらい？

財政力指数  
**0.516**

前年度比0.002ポイント向上

県内12市中12番目

財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額÷基準財政需要額の3力年の平均値を用います。指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いことを示します。

財政は健全？

実質公債費比率  
**9.3**

前年度比0.4ポイント改善

県内12市中11番目

実質公債費比率は、一般会計が負担する公債費とこれに準ずる額の大きさを数値にしたもので、この数値が高くなると他の事業に充てる財源を圧迫します。この比率が18%以上の団体は起債(市の借金)に当たり許可が必要になります。

## 延べ28人が

### 106件の質疑

決算審査特別委員会で行われた、主な質疑について、概要を掲載します。

★ひとを守る・まちを守る防災ぬまた推進事業

Q地域との要援護者等の情報共有はどのようにされてきたのか。

A要援護者等の情報共有については、平成27年3月に作成した「避難行動要支援者名簿」を保有していますが、個人情報保護の観点も踏まえ、現在まで情報共有していません。

★庁舎等複合施設整備事業

Q市民利用施設について、どのような検討、工事がされたのか。

A市民活動センターやあおぞら作業所、子ども広場を移設拡充し、福祉シヨップ・カフェをはじめ、交流サロン、介護予防スタジオ、インキュベーションオフィス、歴史資料館及びトレーニングスペース等の新設、勤労青少年ホーム機能の移設等について、設計段階から、各施設を所管する担当職員・利用者の意見を聞き、設備、スペース等の調整、技術的な検証を加え、

改修工事を進めてきました。

★市町村乗合バス運行事業

Q利用者増加にむけどのような取り組みがされたのか。

A委託路線、自主運行路線、JR線も含めた時刻表を製作し、市内公共施設、JR各駅及び観光施設窓口等に配置したほか、利根沼田の高校に通う生徒に配布し、利用促進を図りました。

県交通政策課の協力により、持続可能な公共交通のあり方を研究するための勉強会を立ち上げ、路線バスの現状と抱える課題を検討、分析しました。

★民間教育・保育施設給付事業

Q保育士の処遇改善は、確実に実施されたのか。

A教育・保育に携わる人材の確保と資質の向上を図るため、処遇改善加算として、賃金改善や配置等の要件を確認したうえで、該当する園へ支給しました。

★雇用支援対策事業

Q事業内容について

A優秀な人材と労働力の確保を図るため、利根沼田地域の高校2年生を対象に、「高校生のための企業ガイダンス」や子育て中の女性や主婦等を対象として、「ママ・主婦等の働きたいを応援する就職面接会」を開催し、地元企業への関心と就職意識の高揚を図りました。

★インバウンド推進事業

Q旅行エージェントとの商談件数とその成果は。

A国土交通省、横浜市などで構成される「ビジットジャパン日本シルクロード事業」で、上海で現地商談会が開催され、本市職員は不参加でしたが、上海の旅行社14社が参加、感触は良好であったと報告を受けています。

上海の旅行社3社がツアー造成を検討中であり、本市の観光素材を上海でPRできたことは大きな成果であると考えます。

★住宅・建築物耐震改修等事業

Q空き家対策補助金の効果と反響は。

A空き家の自発的な解体を促進し、安全で安心な暮らしを確保、

良好で快適な住環境の形成と景観の保全が図られたと考えます。

平成29年度から実施した事業で、19件の補助金を交付し、事業が浸透していると考えます。

★給食センター整備事業

Q進捗状況は。

A施設の構造、レイアウト及び備えるべき設備等について、基本設計業務を行いました。安心・安全な給食を提供するため、市内3つの調理施設を統合し、地元産米提供のための炊飯設備とアレルギー食提供に対応した施設整備等を主な目的としました。

★沼田城遺跡発掘調査事業

Q安全対策業務委託の実施に至る経緯と費用対効果は。

A市史跡沼田城跡調査・保存整備委員会専門部会において、平成27年度と28年度の発掘調査部分について、埋め戻しが少ないため土砂の崩落防止の安全対策が必要であり、崩落した場合、遺跡の保護にも悪影響が出るおそれ大きいと指摘され、予算を組み替えて実施しました。

ゲリラ豪雨などに伴う土砂の崩落防止とともに遺跡の保護に効果が継続すると考えます。



# 9月 定例会

9月定例会は、9月7日に開会し、9月27日までの21日間、市当局からの報告、平成29年度決算認定、平成30年度補正予算、条例の改正、工事請負契約の締結、教育委員の選任同意など計18件と、議会からの請願と意見書の計2件を審議しました。また、9人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

## 平成30年度

### 一般会計補正予算

今回の補正予算は、国県支出金の確定、制度改正などによるもの及び緊急に措置しなければならぬもの、人事異動に伴う人件費及び普通交付税の交付額決定に伴う財源措置などによるものです。

歳出の人件費以外の主な内容は、防犯灯新設工事費の追加、

### 補正予算に反対（一部抜粋）

庁舎等複合施設整備事業、実施設計業務委託料280万8千円について、庁舎のオフィスマニュアルを作成する委託料なら、庁舎オフィスマニュアル作成委託料と記すべきではないでしょうか。しっかりとした説明をした後に、補正計上をすべきではないでしょうか。

電算業務委託料の追加、鳥獣被害対策事業費補助金の追加、空家解体補助金の追加、学校の倒壊の恐れのある塀等の修繕料の計上、図書館費で防火シャッターの挟み込み防止対策に係る修繕料などです。

**（仮称）利南運動広場整備工事請負契約2件を議決**

8月21日に、萬屋・オーケソン・角屋（仮称）利南運動広場整備（建築）工事特定建設工事共同企業体が11億4,912万円で落札した（仮称）利南運動広場整備（建築）工事請負契約と、8月24日に、沼田・三川・沼建（仮称）利南運動広場整備（土木）工事特定建設工事共同企業体が4億7,520万円で落札した（仮称）利南運動広場整備（土木）工事請負契約の締結について議決しました。

### 国に意見書を提出

群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書（要旨）

群馬大病院は、腹腔鏡手術による医療事故により、特定機能病院の承認を取り消されましたが、事故判明以来、診療体制の見直しや安全管理体制の整備、ガバナンスの強化など様々な改革と再発防止に取り組んでいます。

群馬大病院に本来期待される高度医療の提供や医師の養成や確保という役割をこのまま十分に果たすことができない場合には、住民から必要な医療を受ける機会を奪い、地域医療の崩壊につながるりかねません。

安全で安心できる市民生活を維持確保するために、群馬大病院について、特定機能病院として早期の再承認を実現するよう強く要望します。

### 人事の同意

次の方々の任命・選任に同意しました。

市教育委員の任命

中村 俊生

市公平委員の選任

萩原 和男（再任）

## 常任委員会

総務文教常任委員会で請願1件を審査

9月26日、総務文教常任委員会が開催され、『地方財政の充実・強化を求める請願書』について審査しました。審査結果は、全会一致で採択すべきものと決定し、9月27日の本会議で採択。国に意見書を提出しました。

### 地方財政の充実・強化を求める意見書（要旨）

地方自治体は、様々な新しい政策課題に直面しています。必要な公共サービスを提供するため、財源面を担保するのが地方財政計画の役割です。しかし、財政再建目標を達成するためだけに歳出削減が行われ、結果として不可欠なサービスが削減されれば、国民生活と地域経済に疲弊をもたらします。

2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたって、国民生活を犠牲にする財政ではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことを要望します。

## 沼田市の地域産業を発展させる計画

桑原 敏彦

**Q**新事業・新産業、沼田市技術革新の具体案について

**A**アフションプログラムとして、地域産業活性化交流会の開催、

新技術・新製品開発補助による技術開発の促進や異業種による情報交換を推進しています。今後は、市内中小企業の業種間の連携による新技術の開発や「生産性向上特別措置法」に基づく「導入促進計画」を策定し、ICT技術や省力化機材を導入する取り組みに対し、県や産業支援機構等と連携し、支援したいと考えています。

**Q**販路開拓商品の産業的範囲について

**A**農業や商工業、観光業など、海外への販路拡大にチャレンジする企業を対象に支援したいと考えています。

**Q**海外販路開拓事業の本年度及び次年度以降の計画について

**A**沼田市海外販路開拓支援事業推進協議会の事業は、販路開拓のためのセミナー、海外での展

示会・テストマーケティングの開催、海外販路拡大のためのブランドディングなどの事業の展開を考えています。

**Q**海外販路開拓事業の支援の範囲について

**A**「JETRO群馬貿易情報センター」の協力をいただき、海外進出する企業のサポートをしたと考えています。

**Q**外国人技能実習生との帰国後の連携について

**A**企業経営において、安定した雇用を確保するため、外国人技能実習生の労働力は欠かせない状況です。利根沼田テクノアカデミーで取り組んでいる「沼田オフグリッドモデル」などを参考に、企業と技能実習生の帰国後の仕事の連携について、調査研究したいと考えています。



## 大型公共施設、防災対策、沼田城跡発掘

金子 浩隆

**Q**テラス沼田、利南運動広場の野球場、新給食センターなどの大型公共施設の維持・管理費。

人口減少による財政難の中でもその負担が可能なか、他の施策にしわ寄せがいかないか考え、計画、設計を進めていくべきです。

**Q**維持・管理費、最終的な経費は算出できただしょうか。

**A**現在整備中の施設は、施設整備と並行し、適切な維持・管理の方法を経費を含め、現在も継続的に検討しています。最終的な経費の算出は今しばらく時間をいただきたいと思います。

**Q**異常気象による自然災害が大きく変わってきています。災害時の住民への情報伝達、周知体制について伺います。

**A**「沼田市ホームページ」「ホットメールぬまた」「防災行政無線」「緊急告知FMラジオ」等により防災情報を発信しています。緊急告知FMラジオは、昨年実施した貸与希望調査に基づき、希望世帯に無償貸与します。

**Q**災害時要援護者（避難行動要支援者）の名簿の整備、名簿情報の地域との共有はできていますか。

**A**災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者名簿の作成が義務づけられ、平成27年3月に作成しています。極めて秘匿性の高い個人情報なので、現在までのところ名簿情報を共有したところはありません。

**Q**沼田城跡発掘調査はどのようになっていますか。

**A**沼田城の遺構全体の状態を確認するための地中レーダー探査を実施します。



改装中のテラス沼田

## 一般質問

## 行政需要と人員配置、平和行政の充実

高柳 勝巳

【Q】現在の人員の配置や人数について、どう認識し、その過不足をどのように客観的に把握しようとしているのか伺います。

【A】総務省が実施している定員管理調査における類似団体の平均的な職員数を参考に、平成31年度末の職員数400人を目標として、人事ヒアリング等で業務量などを把握しながら、計画的な職員採用、優遇退職制度の推進、事務事業の見直し等により取り組みを進めています。

【Q】的確で良質な行政サービスの提供と行政コストの縮減という二律背反する克服課題への基本的な考え方を伺います。

【A】本年度、外部委託により業務量調査を実施しています。抽出された課題について、段階的に適切な業務改革を行い、改善や削減により生み出されたリソース(資源・資産)は、市が本当に投資すべき業務領域に充当することで、さらなる行政サービスの向上を図っていく考えです。

【Q】指定管理における透明性や客観性・公平性は非常に重要です。白沢道の駅「望郷の湯」は今回、期限を3年として「公募によらず指名」とすると聞いていますが、具体的内容を伺います。

【A】申請がなかったときや候補者となる適当な団体がいない場合などには、公募によらず選定することを可能としています。「公募によらず指名」することの条例化については、今後検討していきたいと考えています。

【Q】広島・長崎を修学旅行先とすることの検討について教育長に伺います。

【A】修学旅行先は、各学校で検討、決定します。今年度、薄根中学校が広島方面を行程に入れていますが、成果や課題について聞き取りし、修学旅行先を検討する情報のひとつとして、各学校に伝達していく考えです。



原爆ドーム

## テラス沼田移転後の諸課題と活用

星野 妙子

【Q】免許証返納後は日常生活の行動範囲が制限されます。返納後に交付されるバスカードと同等額のタクシー利用券の選択制について伺います。

【A】タクシー利用の選択制など新たな支援方法については、免許証返納状況及び県内他市町村の状況を注視しつつ検討したいと考えています。

【Q】テラス沼田に保健福祉センター内の健康課と社会福祉協議会が移転します。保健福祉センターに残る障がい者施設の方々の緊急時の安全対策と防災対策について伺います。

【A】移転後も「沼田市保健福祉センター消防計画」に基づき、人命の安全確保対策に引き続き努め、障がい者の対応について平常時から施設管理者と連絡調整を図り非常時に備えたいと考えています。

【Q】平成29年度勤労青少年ホームの利用実績は750回、8,638人と沢山の方が活用してい

ます。事業評価とテラス沼田移転後の事業枠について伺います。

【A】昭和50年に設置以来、勤労青少年の福祉増進と健全育成に寄与してきました。現在行っている文化・教養教室、レクリエーションなどについては、引き続きテラス沼田において企画運営したいと考えています。

【Q】テラス沼田の階段に「階段力ロリー表示ステッカー」と「健康階段標語」を表示し、市民・職員の健康づくりの取り組みについて伺います。

【A】「スマートウエルネスめまた」として市民にウォーキングを推奨しています。先進事例を参考に検討したいと考えています。



階段のカロリー表示ステッカー

# 市政を問う!!

## 医療体制の充実、子どもの安全確保

大東 宣之

**Q** 医師の確保に今後どのように取り組むのか伺います。

**A** 本市においても特に産婦人科医師と小児科医師が不足しており、専門医師の確保は大変重要な課題であり、今後も継続して国や県に働きかけを行っていきたいと考えています。

**Q** 救急医療体制の維持にどのように取り組むのか伺います。

**A** 利根沼田広域市町村圏振興整備組合において、医療保健体制の充実強化、休日夜間の救急診療体制の整備、初期救急医療機関の整備などを医師会や医療機関等の協力を得て進めてきました。身近な場所で適切な医療が受けられるよう、圏域市町村で連携し、行政としての支援を継続したいと考えています。

**Q** 「お互いさま」のまちづくりの取り組みをどのように進めるのか伺います。

**A** 情報共有と機運醸成の段階であり、具体的な取り組みが始まるまでに至っていないので、時

間をかけて地域課題の整理と協議を進めていく必要があると考えています。

**Q** 通学路におけるブロック塀について今後どのように対応するのか教育長に伺います。

**A** 7月中に各学校で、通学路に面した宅地等に1.2メートル以上のブロック塀のある場所を特定する調査を行い、子どもたちへの安全指導に活用するように考えています。

**Q** 教室、体育館へのクーラーの設置について教育長に伺います。

**A** 普通教室の温度調査では、全ての学校で国が示す学校環境衛生基準を超える結果であり、このような状況下においては、子どもたちの安全確保と学習環境の向上を図る上で、クーラーの設置が有効な手段であると考えて、今後、検討を進めたいと考えています。



## 小中学校へのエアコン設置、部活動のあり方

井上 弘

**Q** 熱中症から児童生徒の命を守るために、小中学校普通教室へエアコンを設置することについて考えを伺います。

**A** 本年実施した教室の室温調査結果では全ての学校で学校環境衛生基準の28度を超えています。子供たちが安心して学べる学校環境の向上のためにも、学校へのエアコンの設置は重要な課題であり、検討を進めたいと考えています。

**Q** 生徒の自主性を尊重し、部活動への加入を強制させることがあってはいけなないと考えますが、教育長の考えを伺います。

**A** 部活動は、生徒の心身の健全な発達や人間形成にとって重要な役割を果たしており、本市では、全員が部活動に所属することを原則としています。今後、これまで部活動が果たしてきた役割を踏まえつつ、望ましい加入のあり方等について研究したいと考えています。

**Q** 現状の部活動に参加しなくな

い生徒の受け皿となる活動について教育長の考えを伺います。

**A** 部活動の数が減少しつつあり、希望と十分合っていない部に入る場合があります。先進的な取り組みを参考にすることで、受け皿となる地域の組織や施設等の拡充、連携・協力について研究を進めたいと考えています。

**Q** 当事者の生徒の思いや社会情勢を踏まえた議論も必要と考えますが、今後の取り組みについて、教育長の考えを伺います。

**A** 「教育部活」としての生徒の健全な育成とあわせて、適正な休養日等の設定により、生徒の心身のバランスをとることや、教員の負担軽減等についても配慮し、望ましい部活動運営がなされるよう、引き続き校長会等で指導したいと考えています。



# 一般質問

## 市民が「こころの豊かさを感じるまちづくり」

中村 浩一

**Q**平成29年度予算に掲げた6つの重点施策をもとにした今後のまちづくりについて、どのように活かしていくのか伺います。

**A**事業の追加や見直し等を行い、「こころ豊かに暮らし、しあわせを実現できるまち 沼田」の実現に向け、市民との連携・協働のもと、取り組んでいます。

**Q**生き生き長寿のまちづくり計画の基本方針で掲げた重点事業等の推進状況について伺います。

**A**本計画では、基本方針のひとつを「自立支援・重度化防止の推進」とし、「健康づくり・介護予防の推進」、「介護予防・日常生活支援総合事業の推進」、「認知症施策の推進」、「介護支援体制の充実」に努めるとともに、必要とする人に必要なサービスが提供できる地域づくりを推進し、介護予防に対する理解を深めるための取り組みを進めています。

**Q**沼田市障害者福祉計画（後期計画）に掲げた基本理念である



障がい者就労施設授産製品販売会  
(市役所ロビーにて)

「フォーマライゼーション理念」の実現に向けた各施策の推進状況について伺います。

**A**沼田市障害者福祉計画に基づき、障がいの有無にかかわらず、共に生活・活動できる社会を実現するため、障がいについての啓発・広報活動、障がい者福祉サービス、保健・医療・福祉体制、情報提供の整備などの充実に努めています。

※その他の質問

- ・男女共同参画の推進状況
- ・健康増進計画の取組状況

## 豪雨災害にも安心・安全な沼田市をめざして

井之川 博幸

**Q**市街地に存在する急傾斜地崩壊危険区域等に対して、西日本豪雨やカスリーン台風などの災害を教訓とし、公共下水道事業計画の雨水整備の現状と今後の計画について伺います。

**A**急傾斜地崩壊危険区域は、市内で21区域、危険箇所数は、121箇所、土砂災害警戒区域等は、449区域あります。雨水排水については、現在、計画面積656・5ヘクタールに対し、整備面積27・9ヘクタールとなっています。今後の整備計画は、財政状況を勘案するとともに、汚水未普及地区の解消や、維持管理事業などの関連事業と調整を図り、緊急性や優先度を考慮した事業推進に努めたいと考えています。

**Q**沼須町の片品川堤防の下流方向への延長について伺います。

**A**堤防の整備につきましては、県に対処して頂けるよう要請していきたいと考えています。

**Q**運転免許証自主返納者への支

援の拡充について伺います。

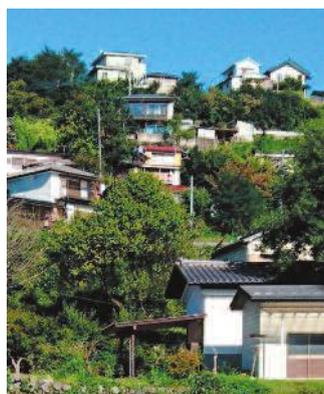
**A**返納状況及び県内他市町村の状況等を注視しつつ見直していきたいと思いますが、当分の間は、バスカードの交付を続けたと考えています。

**Q**デマンド型乗り合いタクシーの実施について伺います。

**A**平成25年度から3年間、導入の可能性を検討し、導入を見送ってきた経過がありますが、引き続き検討したいと考えています。

**Q**住宅リフォーム助成事業の復活について伺います。

**A**平成29年度、住宅リフォーム助成を終了しました。県内の実況は、35市町村のうち26の市町村で実施しています。



西倉内町から榛名町への急斜面の住宅地

# 市政を問う!!

## 水道事業の統合、上之町商和通りの対面通行

星野 佐善太

**Q**沼田市の上水道、簡易水道、小水道の現状と課題について伺います。

**A**現在、本市には上水道のほか、29地区の簡易水道、小水道があり、市直営、指定管理者及び組合で維持管理を行っています。浄水施設、配水池、配水管等の各施設が老朽化し、改修・更新に係る費用の増加が考えられますが、人口減少に伴う使用料収入の減収により経営環境が厳しくなることが懸念されています。

**Q**各水道の統合について、どのように考えているか伺います。

**A**各簡易水道とも人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化による更新、改修費などの増加により経営環境が厳しくなるとともに、維持管理にも支障をきたすことが懸念されることから、上水道と簡易水道の統合は必要であると認識しています。設立の背景や、経営・維持管理状況等から非常に難しい状況ですが、管理組合の考えを把握し、

上水道と簡易水道の管路の接続、水道料金の統一など、住民の理解と協力が得られることから進めるとともに、水の安定供給や適正な維持管理を前提にした最適な統合について研究したいと考えています。

**Q**上之町商和通りの対面通行について伺います。

**A**路線のほぼ半分が土地区画整理事業の区域に含まれ、拡幅整備を行う予定となっており、商和通りについては、一方通行を相互通行とするために公安委員会と協議を重ねています。

※その他の質問

街区商店街の売り上げ低迷に対する対応について、にぎわいの核の運営に対するNPO法人上之町商店街との連携について



上之町交差点

### 平成30年第3回市議会9月定例会賛否状況

種別	番号	議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				戸部博	永井敏博	桑原敏彦	茂木清七	中村浩二	坂庭直治	星野妙子	金子浩隆	井上勝弘	高柳勝巳	高山敏也	野村洋一	久保健二	小野要二	大東宣之	井之川博幸	大島崇行	大竹政雄	星野稔・議長	星野佐善太
報告	第13号	平成29年度沼田市一般会計継続費精算報告書について	報告のみ																				
議案	第53号	動産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第55号	沼田市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第56号	沼田市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第57号	平成29年度沼田市一般会計及び特別会計7件の歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	第58号	平成29年度沼田市水道事業剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	第59号	平成30年度沼田市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第60号	平成30年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第61号	平成30年度沼田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第62号	平成30年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第63号	平成30年度沼田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第64号	平成30年度沼田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第65号	平成30年度沼田市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第66号	(仮称)利南運動広場整備(建築)工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第67号	(仮称)利南運動広場整備(土木)工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第68号	沼田市教育委員会の委員任命の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第69号	沼田市公平委員会の委員選任の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第70号	群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書案について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号	地方財政の充実・強化を求める意見書案について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	第4号	地方財政の充実・強化を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

■各記号の見方 ○…賛成の者、×…賛成でない者

# 行政調査

# 報告

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。  
今回は、経済建設常任委員会の概要を掲載します。

## 経済建設常任委員会

平成30年2月5日～7日、岐阜県瑞浪市、滋賀県近江八幡市、静岡県浜松市を調査しました。

瑞浪市では、新たな事業チャレンジ支援補助金交付事業について調査を行いました。創業支援補助金として上限500万円を交付しており、平成24年度から累計して、26事業所に補助金を交付。実績報告や追跡調査も



近江八幡市での質疑の様子

実施しており、従業員の雇用などで50人以上は、新規雇用が生まれていました。

近江八幡市では、VR安土城プロジェクトについて調査。安土城の復元は、費用面や史跡であることの制約等があることから実現が難しく、ヴァーチャルリアリティ（VR）の技術を活用し、安土城を復元することで、観光や文化振興のひとつのツールとして、まちづくりに役立てていきました。

浜松市では、浜松城公園長期整備構想と大河ドラマを利用した観光誘客について調査を行いました。

大河ドラマを活用した観光誘客では、官民連携で98機関が参画した推進協議会を設立し、プロジェクトを推進。地元企業による物産やサービス、観光業の新たな主要産業化、市民ボランティア及び観光ガイドの充実、



浜松城公園で天守門などを視察

首都圏でのプロモーションなど様々な取り組みを実施してまいりました。

浜松城公園長期整備構想では、公園内を4つのゾーンに分けて整備しており、賑わい交流活動の場、余暇を楽しむ場所、浜松城を中心とした歴史ゾーン、四季の体感ゾーンなど、防災や観光、歴史、環境等、さまざまな分野を考慮しながら、役割に合わせた整備を検討、実施してまいりました。

### 次回定例会の日程

次回定例会は、12月4日（金）からの予定です。

ぜひ傍聴にお越しください。

### 編集後記

第3回沼田市議会定例会は平成29年度予算執行に対する一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算の認定についてが議案として上程され、決算審査特別委員会にて、各委員より質疑がなされました。

平成29年度予算に対し、議会は重要な権限である議決をし、当局において予算執行された決算であります。

地方自治法においては、議会は、監査委員の監査とは異なり、住民の代表機関としての立場から、当該自治体の行政全般にわたる監視機能を果たすことが求められております。決算の認定についても、執行機関の事務執行に対する監視機能を担う議会の重要な権能であり、十分な審議がなされ認定したものであります。今後も住民の代表として、監視機能や政策形成機能等を議会として発揮し、「民意を反映」していきたいと考えます。

編集委員 中村 浩二

議会だより編集委員会  
委員長 井上 弘  
副委員長 大東 宣之

委員 茂木 清七  
中村 浩二  
星野 妙子  
久保 健二